

5月25日開催の

第1回焼津市地域公共交通会議での掲載内容

## 大井川地域における評価基準

### ○大井川地区の評価基準の考え方

- ・基本的には焼津IC周辺地域における判断基準に準じた評価基準とする。
- ・運行エリアが広域であることから運行契約方法が異なり、車両を借上げる仕様で経費を積算していることから、財政面での評価は困難である。このため、収入の増加を図るための利用者数増加を評価基準とする。
- ・地域への必要性に関しては、実態を考慮し、利用頻度が高い高齢者層に注目した登録者数を基準とする。
- ・地域の主体性は、自主運行バスの代替として運行した経緯を考慮し、大井川分科会の開催回数を評価基準とする。

※焼津IC周辺地域の人口 約1,700人  
 大井川地区の人口 約21,000人

評価の視点	評価指標	評価基準	R5.3 現在
①乗合率	乗合率 $\text{利用人数} \div \text{運行回数}$	1.1人/台以上 (県補助金対象要件)	A 1.63人/台
②利用者数	年間延べ利用者数	大井川分科会で検討	1,464人
③地域への必要性	高齢者登録数 ( $\text{高齢者登録数} \div \text{高齢者人口}$ )	大井川分科会で検討	8.27%
④利用者満足度	利用者アンケート	44%以上 (地域公共交通網形計画の目標値)	今後実施
⑤地域の主体性	大井川分科会開催数	3回/年以上 (4か月に1回)	A 3.3回/年

## 本格運行への判断評価基準(案)

評価の視点	評価指標	評価基準	R5.3 現在
①乗合率	乗合率 $\text{利用人数} \div \text{運行回数}$	1.1人/台以上 (県補助金対象要件)	A 1.63人/台
②利用者数	年間延べ利用者数	2,000人以上/年	1,464人/年
③地域への必要性	高齢者登録数 (高齢者登録数 $\div$ 高齢者人口)	15%以上	8.27%
④利用者満足度	利用者アンケート	44%以上 (地域公共交通網形計画の目標値)	今後実施
⑤地域の主体性	大井川分科会開催数	3回/年以上 (4か月に1回)	A 3.3回/年

- **評価方法** — 各評価基準の達成状況が100%はA評価、90~100%はB評価、90%未満はC評価
- ・C評価が1つ以下で、他がA評価であれば本格運行とする。
  - ・B評価については改善策を講じることでA評価とみなす。
  - ・C評価が2つ以上の場合は、試験運行を継続し、以後利用状況で再評価を行う。
  - ・C評価が3つ以上の場合は、廃止を検討する。

## 大井川分科会での質疑応答、意見

- 今年度に入り利用者数が大きく増加したため、このままのペースが続けば②は基準を達成する可能性もあるが、利用者次第であるため不安がある。また③の登録者数は運行開始から1年が経過した今からが大変だと思う。  
⇒登録者数を増やすことは簡単ではないが、事業継続のために必要な項目であると考えているため、引続き努力していく。
- 社会福祉協議会では、高齢者向けの講話などを開催している。そういった場へ説明に来て、登録を呼びかけてほしい。  
⇒自治会や地域の集まりなど、どんな場所でも機会があれば説明に伺う。心当たりがあれば是非、お声掛けいただきたい。
- どこで乗ったらいいのか分からなかったり、帰りの時間が読めず予約しづらかったりすることが、登録数が伸びない要因となっているのではないかと。  
⇒予約はできる限り柔軟に対応している。また、分からないことはオペレーターや市の担当が説明する。まずは電話を一本かけてもらいたい。